

光ビームプラットフォーム シンポジウム 2019

～放射光のラウンドロビン実験～

光ビームプラットフォームは6つの放射光施設と2つの大型レーザー施設の8機関で構成される、先端大型研究施設の共用を促進するネットワークです。2016年度開始の文部科学省先端研究基盤共用促進事業により2期目を始動し、施設の連携を最大限に活かす事を指針として、標準化検討、施設の連携活用、人材育成をテーマとして活動を行ってきました。本シンポジウムでは、この3年間の活動を通してデータが蓄積されてきた硬X線XAFSと光電子分光のラウンドロビン実験を中心に、軟X線XAFSと小角散乱も加えて、標準化をテーマとして検討状況のご報告と議論を予定しています。またポスターセッションでは技術相談会を併設して各機関のご利用方法などのご紹介を行います。

【主催】 光ビームプラットフォーム

【協賛】 日本放射光学会、日本化学会、SPring-8利用推進協議会

【日時】 2019年3月1日（金）13:00～17:45、終了後に会費制の交流会を別途開催

【場所】 秋葉原 UDX 4階 Gallery（JR秋葉原駅徒歩2分）
〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1

【参加費】 無料。但し事前に事務局まで参加登録をお願いいたします。登録締切＝2月10日。

シンポジウム終了後、別途、会費制にて交流会を開催します。会費＝4,000円。

参加登録のお申込みの際に、併せて交流会への参加の有無をお知らせください。

【お問合せ・お申込先】 光ビームプラットフォーム事務局 contact@photonbeam.jp

【プログラム】

13:00～13:15 開会の辞、来賓ご挨拶

13:10～13:50 【招待講演】 硬X線XAFSのデータベース

北海道大学教授 朝倉 清高

13:50～14:30 【招待講演】 光電子分光のデータベース・標準化動向

物質・材料研究機構 材料データプラットフォームセンター副センター長 吉川 英樹

14:30～17:00 【プラットフォームの活動報告】

硬X線XAFSのラウンドロビン検討状況・今後の計画

KEK物質構造科学研究所 木村 正雄

HAXPESの相対感度係数の検討状況・今後の計画

あいちシンクロトン光センター 渡辺 義夫

軟X線ラウンドロビンの検討状況・今後の計画

立命館大学SRセンター 太田 俊明

小角散乱ラウンドロビンの検討状況・今後の計画

JASRI産業利用推進室 廣沢 一郎

17:00～17:45 ポスターセッション（各機関の共用事例、施設紹介）、相談会併設

17:45～19:30 交流会（会費 4,000円、事前にお申込み下さい）

2019年
3月1日（金）

光ビームプラットフォームを構成する機関・施設

<https://photonbeam.jp>



SAGA-LS



JASRI/SPring-8
(産業利用推進室)



兵庫県立大
ニュースパル



阪大レーザー研



立命館大SR



あいちSR



理科大FEL-TUS



KEK-PF